



平成16年度 決算報告

これが宇城市の家計簿です

このほど、宇城市の平成16年度決算がまとまりました。皆さんに納めていただいた大切な税金がどのように使われたのか、そのあらましをお知らせします。宇城市の平成16年度決算につきましては、合併後の宇城市決算と合併前の旧5町分の決算を合算しています。

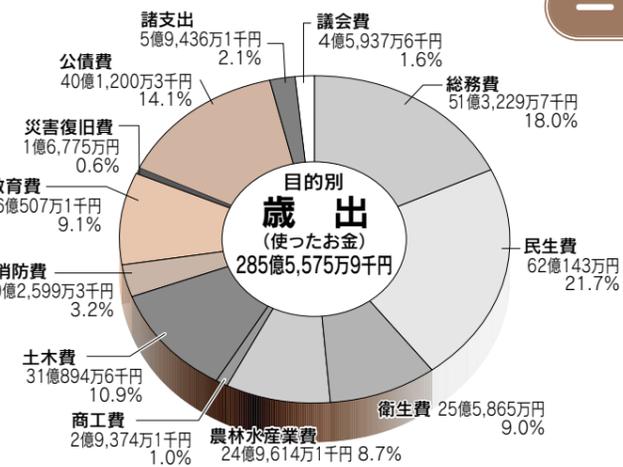
今後の財政運営につきましては、合併による効果的効果的な体制整備を図り、さらに行財政の改革を行いながら財政の健全化に努めてまいります。

なお、歳入歳出の差額は翌年度への繰越金および財政調整基金への積立金として処理しています。

- 議会費
議会運営のための経費で、職員給与や議員報酬などの人件費が主なものです。
- 総務費
一般事務や選挙の経費、企画費、徴税費、庁舎の管理費などが主なものです。
- 民生費
老人・児童・障害者福祉の経費や保育園などの運営費が主なものです。
- 衛生費
ごみ処理経費や健康づくり事業、各種検診費用が主なものです。
- 農林水産業費
農林水産業の振興の経費や土地基盤整備、農道舗装、漁港整備事業などが主なものです。

- 商工費
商工業の振興や観光事業の経費が主なものです。
- 土木費
道路や橋梁などの新設や改良工事費、市営住宅の建設や維持管理費などが主なものです。
- 消防費
宇城広域消防負担金や防災事業、消防団の運営経費が主なものです。
- 教育費
小中学校や学校給食、社会教育、スポーツ・文化施設の管理費などが主なものです。
- 災害復旧費
災害の復旧に充てた経費です。
- 公債費
市が各種の事業を実施するために借り入れたお金の返済金です。

歳出 合併を控え、各町とも基金からの繰入金などで財源を確保し、公共施設などの整備拡充を図ったため、歳出決算額は前年度より6億8,223万4,000円の増加となりました。



市民1人当たりの歳出 444,918円

歳入 平成16年度から、国の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」に基づき実施された国庫補助負担金の廃止・縮減、税源移譲を含む税源配分の見直しや、地方交付税の改革による「三位一体の改革」の影響による歳入は約8億円の減収となりました。

